



## 十三湊・中世都市発掘

国立歴史民俗博物館特定研究所「北部日本における文化交流」中世班（代表：千田嘉博，小島道裕）と富山大学人文学部考古学研究室（宇野隆夫，前川要，学生36名）は、10月8日から18日にかけて十三湊・福島城の発掘調査を実施しました。その結果、中世の掘立柱建物、井戸や板塀、中国製の陶磁器など多彩な品々が出土し、今回の調査は日本の中世都市・町をみなおす起点に、更なる分析解明が待たれています。

# 奥州藤原三代ゆかり

## 栗駒サミット開催

一次産業の活性化を

歴史資源を生かした地域づくりを



▶中世の歴史研究所等の  
議致を提言

歴史、文化、風土を見直し、21世紀に向けたまちづくりを「メーンテーマ」とし、今年で六回を迎えた「奥州藤原三代ゆかりサミット」が十月二十四日、二十五日と二日間の日程で宮城県栗駒町で開催されました。

初日は作家の村松友視さんの記念講演、参加八市町村の首長によるサミットと青年代表会議が行われ、地域づくり

への提案が発表にされました。今回のサミットには、ゆかりの地八市町村からおおよそ三百人が集まり、市浦村からは高松隆三村長のほか村観光協会、村連合婦人会、商工会や農水産加工センター、東日流未来塾の代表者等十七名が出席しました。

参加町村は青森県市浦村、岩手県平泉町、宮城県栗駒町、山形県最上町、酒田市、福島県いわき市、岐阜県白鳥町、和歌山県田辺市の八市町村で、平安末期、藤原氏が栄華を極めた平泉文化や義経、弁慶の史実や伝説に深いかわりをもつ地域が教育、文化、産業の交流を重ね、お互いの活性化策を探ろうとサミットを開催しているものです。



▶青年代表会議に参加し  
た佐藤孝和さん

人間の絆を解説し、人間を風景のようにフルカラーをかけたみると人間性や人生がいろいろな色となって見えてくるという紹介がありました。

サミットでは新世紀に向けて、いかに個性が展開されるなか、高松隆三村長は「産業おこしと心おこしの二本の大きな柱で地域づくりを進めていく」とし、一次産業の活性化

### 奥州藤原三代ゆかり 栗駒サミット 歓迎レセプション



高松隆三村長を中心に今回参加した17人のメンバー

化による農村再生と歴史資源を生かした中世の歴史研究所等の誘致などが「必要」と地域づくりの将来構想を発表しました。

村商工会青年部員佐藤孝和さんが出席した青年代表者会議では交流を深めるため、各市町村の情報提供、オンライン化、事務局の設置、地域の実情をはき出した参加が必要であり、継続することが人的・物的交流につながる」と話合われました。

また、同時に行われた物産展示即売には、市浦村からし

じみ貝やしじみエキス味噌、しじみエキス21が出品され、商品は売完となり予約を受けるほど盛況となりました。なかでも、しじみ汁の試食サービスは本場の風味の提供となり、大変好評を得ていました。

二日目は、栗駒町の産業まつりの見学や林業経営者の山林視察を行いました。

今回参加した一行十七名は今後、平成六年に市浦村で開催予定の市浦サミットへ向け、支援体制や組織づくりのため、情報収集や事前学習をすることとしています。



### 『走ること』で心身にやすらぎを 村民健康マラソン大会開催

村民健康マラソン大会が、十月十日体育の日に、大沼公園で開催されました。村内外から、親子で、友達同士でといったように約二百十人が参加したこの大会は、今回で八回目の開催となります。コースは三、五、にわかれ、参加した人たちは、それぞれのペースで、ゴールを目指し、心身のリフレッシュをはかっていました。終了には、食生活改善推進員による豚汁に舌鼓。生き生きと健康あふれる一日となりました。



### “火遊びは絶対しません” 相内保育所児童らが火災予防パレード

「カチカチ、火の用心」  
と十月二十日、相内保育所消防クラブや相内婦人防火クラブ等の皆さんが、秋の火災予防運動のパレードを行いました。火災予防思想の普及を図るためパレードに参加した子どもたちは、拍子木を打ちながら火の用心を呼びかけ、沿道からたくさんの方の声援を浴びました。相内保育所をスタートし、無事に村役場に到着した子どもたちは、高松隆三村長のお礼のプレゼントに思わず、ニッコリはほえていました。



### 平泉町 600キロ → 函館市

### 岩手県江刺市ウォーク隊が本村を通過

岩手県江刺市の青年会議所のメンバーが組織する義経北光100キロウォーク隊が、九月十七日、本村を訪れました。ウォーク隊は、源義経北伝説の跡をたどり、米年のNHK大河ドラマ「義経」のロケ地、江刺市を走り込もうというのがねらいです。二十八日には、役場職員らと小泊村を目標しウォーク隊途中、臨元地区では、保育所の子ともたちの歓迎があり、あたたかい声援にはげまされました。ウォーク隊は、最終目的地である函館市に無事ゴールし、六百キロを歩き通しました。



### 元気なお年寄り大集合

### 輪投げ大会を楽しむ

十月十七日、第一回市浦村輪投げ大会が、村コミュニティセンターにおいて行われました。これは「スポーツを通じ、明朗で快活な精神を養うとともに親睦を図ること」を目的に、市浦村老人クラブ連合会が主催したもので、元気なお年寄り百六十人が参加しました。参加者は、それぞれの年齢に合わせて得点ボードから距離をおき、「入ったじや」、「まんだ、入らね」などと言いつつながら初めての大会を楽しんでいました。

# 若山千草さん(十三小)が青森県 豊かな海づくり大会作文コンクールで最優秀賞に輝く

九月二十二日、西津野郡鰐ケ沢町において、第10回豊かな海づくり大会が開催され、絵画・作文コンクールの部で本村から五人が入賞を果たしました。入賞者は次のとおりですが、作文の部で最優秀賞に輝いた若山千草さんの作品を紹介し(入賞者)。

絵画の部  
優秀賞 成田仁美さん  
佳作 若山宗裕くん(十三小一年)  
成田友美さん(市浦中一年)

作文の部  
最優秀賞 若山千草さん(十三小五年)  
佳作 古川千尋さん(十三小五年)

## 最優秀賞

### 「きれいな海にしたい」

市浦村立十三小学校

五年 若山千草

私の住んでいる村は、周りが湖と海に囲まれています。湖ではおいしいしじみ貝がとれて、海ではおいしい魚がとれます。夏になるとたくさんの方がつりやかんこうにきます。でも海に行くと一つ気になることがあります。それはごみがふえたりです。海岸にも、ごみがたくさんあります。ほかに、最近

あそびのような花火もしててありません。どうしてこんなにごみを捨てるのでしょうか。みんな、自分でもって来たごみをきちんともってかえれば、こんなことにならないのに、私はそう思いました。これでは、水がきたなくなるのが当たり前です。水はよこれ、魚はすみにくくなり、やがて少なくなって行くのです。

この魚や貝を少なくしないためにはどうしたらいいでしょう。魚などを住みやすくして、ごみのないきれいな海にするために、みんなで協力してごみをへらすしかないんじゃないかなと思います。海はとっても楽しいから、きれいな海になると、つりをする人やあそびやかんこうにくる人がもつとふえると思います。そうするとみんな好きなしじみ貝も、みんな好きな魚も、そのままいられると思います。私は、そんなきれいな海が大好きです。

湖がきたなくなったげんいんももう一つあります。それは、家庭から流れている水です。湖には、せんざいが流されています。そのせんざいは、家庭で使ったせんざいが湖に流されているんだなあと思いました。家庭からはいろんな物が流されるから、それが海草にひっかかって、海草もきたなくなるんだなあと思いました。

私は、十三湖でとれるしじみ貝がとても大好きです。海でとれる魚も大好きです。



大会において作文を発表する若山千草さん

私は、十三湖でとれるしじみ貝がとても大好きです。海でとれる魚も大好きです。

みんなできれいな海にできるよにがんばろう。

## 金木高等学校相内分校表彰される

長年、岩木河川口において河川愛護月間中に美化清掃を実施している功績が認められ河川愛護団体として、建設省東北地方建設局より感謝状が贈られました。



## フोटосケッチ

### 広い大地にお別れ、放牧牛の野下り始まる

10月21、22日の両日、放牧牛の今年最後の病気、妊娠検査が行われ、ほとんどの牛が健康のままで、現在、数ヵ月ぶりに各農家へ引き取られている最中です。



# 安藤氏の系圖(27)

中島信房

## 政季、蝦夷地を固める

享徳三年(一四五四)八月廿八日、政季にとつてはこの日の津軽海峡の潮は特別にヨツパイものであったことであろう。だが、順風に乗せた安藤船は無事に蝦夷が島に着岸したのでした。



茂辺地観音寺跡(北海道)

その港は、大館であったか、茂別であったか歴史書は教えてくれませんが、でも出帆港が下北郡の大畑である関係から推測しますと茂辺地に一旦渡り、大館(松前)や上国等を往來して、南部氏や東西蝦夷の対策に活躍したものと思われます。

## 政季、蝦夷が島を去る

この政季が再び内地に帰ることにしました。その事情は、松前家の根本史料「新羅之記録」(松前景広著)に書かれています。康正二年(一四五六)に出羽国海河津(現秋田市土崎港)の城主秋田城介安田兼季(惟季)との招きによって小鹿島に移るに当たりました。政季にとってはどうしても内地に渡り南部氏を津軽から駆逐したい執念があったものと思われま

す。この政季が再び内地に帰ることにしました。その事情は、松前家の根本史料「新羅之記録」(松前景広著)に書かれています。康正二年(一四五六)に出羽国海河津(現秋田市土崎港)の城主秋田城介安田兼季(惟季)との招きによって小鹿島に移るに当たりました。政季にとってはどうしても内地に渡り南部氏を津軽から駆逐したい執念があったものと思われま

す。この政季が再び内地に帰ることにしました。その事情は、松前家の根本史料「新羅之記録」(松前景広著)に書かれています。康正二年(一四五六)に出羽国海河津(現秋田市土崎港)の城主秋田城介安田兼季(惟季)との招きによって小鹿島に移るに当たりました。政季にとってはどうしても内地に渡り南部氏を津軽から駆逐したい執念があったものと思われま

す。この政季が再び内地に帰ることにしました。その事情は、松前家の根本史料「新羅之記録」(松前景広著)に書かれています。康正二年(一四五六)に出羽国海河津(現秋田市土崎港)の城主秋田城介安田兼季(惟季)との招きによって小鹿島に移るに当たりました。政季にとってはどうしても内地に渡り南部氏を津軽から駆逐したい執念があったものと思われま

政季は蝦夷が島を去るに当たって、下国は弟である茂別八郎家政、松前は一族

下国定季、上国は比崎信広の三人にそれぞれ補佐役を副えて守護職に任じています。いわゆる政季の代官に任命して蝦夷が島の管理を委任したことになります。前任者掲載「道南十二館」の残り九館にもそれぞれ館主を命じています。すなわち志遠里館に小林良景、佐野館に中野館に佐藤季則、脇本館南条季綱、穂内館藤本直、厚部館今泉季友、林保田館近藤季常、原口館岡辺季澄、比石館厚谷重政の九人を任命して、東西蝦夷の襲撃に万全の備えを命じて退去したことになります。

秋田に渡った政季は、土崎城主安倍安藤兼季(惟季)と協力し、秋田河北部を侵略しています。小鹿島(男鹿半島)よりたがひ河北部(現山本郡)に進出したわけです。このことは、子息忠季の代にまで完結されました。そして、松山(現能代市)に築城といわれ、世に松山殿といわれ、松山の祖と称される由縁です。その後、土崎と合し、秋田氏を名乗り、六戸(茨城県友部町)、三春(福島県三春町)と移り、秋田一季が現当主です。

政季の初名は「帥季」といわれていたようですが、室町八代将軍足利義政から「政」の一字を贈られることになり、政季と改名したといわれます。政季は、単に津軽、下北、北海道、秋田に活躍したばかりではなく、遠く和歌山にも姿をあらわしています。

「米良文書」により、本意を達し、本如く津軽外浜、字楚里、鶴子地地悉く外濱仕り候へば、重ねて寄進申すべき処実なり」云々とあります。安藤安藤氏が南部

氏との戦に勝ち、安藤氏の領地である津軽外が浜や宇楚利(現下北郡)や鶴子地(現下北郡)が神仏の加護により安泰となります。私はこれら全部を再び那智山に寄進するのを誓いますという意味になると思います。忠季、退散、武運長久、息災延命、子孫繁昌、殿中安穩、心中願はず、令満、奉祈申所之願書之状如件」と次に述べられています。応仁元年(一四六八)二月廿八日の願文ですから、北海道から秋田に移住後三年を経過しています。政季がいに津軽を回復するために執心していたか、政季の心中を痛く感ずるのは私だけではないと思いますが、「季朝実録」には「夷千島王(文)が大蔵経を求め朝鮮王に使者を送ったことと述べられています。この「文」も「政季」ではないかといわれています。字をわけて重要なことですが、村史より詳細に述べたつもりです。次号から別な一面から「安藤氏」をお話します。粗拙二免下さい。

政季の初名は「帥季」といわれていたようですが、室町八代将軍足利義政から「政」の一字を贈られることになり、政季と改名したといわれます。政季は、単に津軽、下北、北海道、秋田に活躍したばかりではなく、遠く和歌山にも姿をあらわしています。

政季の初名は「帥季」といわれていたようですが、室町八代将軍足利義政から「政」の一字を贈られることになり、政季と改名したといわれます。政季は、単に津軽、下北、北海道、秋田に活躍したばかりではなく、遠く和歌山にも姿をあらわしています。

政季の初名は「帥季」といわれていたようですが、室町八代将軍足利義政から「政」の一字を贈られることになり、政季と改名したといわれます。政季は、単に津軽、下北、北海道、秋田に活躍したばかりではなく、遠く和歌山にも姿をあらわしています。

政季の初名は「帥季」といわれていたようですが、室町八代将軍足利義政から「政」の一字を贈られることになり、政季と改名したといわれます。政季は、単に津軽、下北、北海道、秋田に活躍したばかりではなく、遠く和歌山にも姿をあらわしています。

## 一ツツホーふれあい教室ー 「ふれあいフラフト・ パートII」開催

### 1. 趣旨

学校週5日制による休業日に、門松づくりを通して作る喜びを味わうとともに、親子や友達とのふれあいを深める。

### 2. 日時

平成4年12月12日(土)  
午前10時から午後3時30分  
〈雨天決行〉

### 3. 対象

小学校3年生から高校3年生ならびにその保護者。ファミリーでの参加は大歓迎で、子供だけでも参加できます。

### 4. 募集人員

50人程度で先着順。

### 5. 経費

1人 600円  
(傷害保険料と材料費)

### 6. 携行品

昼食、おやつ、ジュース、筆記用具、雨具、長靴、内ズック、軍手、花バサミ、工作作業に容易な服装、寒くない服装の準備。

### 7. 参加申し込み

(1)受付締切 平成4年12月2日(水)

●ただし、定員になりしだい締切させていただきます。

#### (2)申込方法

- 直接電話で申し込み下さい。(氏名・性別・年齢・住所・電話番号)
- 電話申し込みと同時に参加許可となりますので、ハガキでの許可連絡はいたしません。
- キャンセルの場合は速やかに連絡してください。

※詳しいことは、青森県立梵珠少年自然の家(電話29-3303番または29-3306番)までお気軽にどうぞ。

## 「第44回人権月間」 相談所を開設します

12月4日から10日までは「第44回人権週間」です。

昭和23年12月10日、第3回国際連合総会で世界人権宣言が採択されて以来、国連ではこれを記念し毎年12月10日を「人権デー」と定め、各国では基本的人権尊重の精神を徹底させるための記念行事が行われます。

わが国では「人権デー」を最終日とする一週間を「人権週間」と定めていますが、青森地方事務局と青森県人権擁護委員連合会では次の強調事項を掲げ、県民の皆さんに人権尊重思想の大切さと呼びかけています。

- 一、国際化時代にふさわしい人権意識を育てよう。
  - 一、いじめ、体罰の根を絶つよう。
  - 一、部落差別をなくそう。
  - 一、女性の地位を高めよう。
  - 一、障害者の完全参加と平等を実現しよう。
- 「人権週間」にあたり、私たち一人ひとりが人権について考え、明るく豊かな社会をつくりましょ

う。

下記の日程で相談所を開設しますのでご利用下さい。

#### 人権擁護委員

脇元地区の成田永吉さん  
(電話62-2008番)  
十三地区の相坂舞刀さん  
(電話62-3525番)  
相内地区の奈良廣悦さん  
(電話62-2074番)

と き 平成4年12月8日  
午前10時～午後3時  
と ころ 青森さすなろホール市浦  
また、毎日の生活の中でお困りのときは、青森地方事務局五所川原支局(電話34-2330番)またはお近くの人権擁護委員に御相談下さい。相談は無料で秘密は厳守します。

## 年金コーナー

### 老齢基礎年金の 繰上げ請求について

老齢基礎年金の支給開始年齢は65歳からですが、本人が希望すれば65歳前でも年金の支給を請求することができます。

これを「繰上げ請求」といいます。

しかし、繰上げ請求をすると年金額が減額されたり、特別支給の老齢厚生年金が停止されるなど、次のような不利なことがあります。

#### ★年金が減額される

請求したときの年齢に応じ、次表のように年金額が減額されます。この減額される割合は65歳になっても変わらず、また、繰上げ請求の取消しができないため、一生減額された年金を受け取ることになります。

歳	支 給 率
60	58%
61	65
62	72
63	80
64	88
65	100

#### ★特別支給の老齢厚生年金が停止される

厚生年金や共済組合に加入したところのある人に、60歳から支給される特別支給の老齢厚生年金や退職共済年金が繰上げ請求すると、その時から65歳になるまで支給停止されます。

#### ★就職すると老齢基礎年金が停止される

繰上げ請求した後に会社などに就職して、厚生年金に加入したときは、65歳になるか退職するまでの間は、老齢基礎年金が支給停止されます。

#### ★障害基礎年金が受けられない

繰上げ請求した後に病気やケガで障害者になったとしても障害基礎年金を受けることができません。

## 募集中

### あなたも広報紙づくりを楽しんでみませんか!?


広報しゅうら編集室では、只今、広報紙づくりに興味のある人を募集中です。自分で取材したことを活字に残してみたいあなた。一度は新聞記者として夢を抱いたあなた。そんな積極的な人なら大歓迎です。男女・年齢問いません。

連絡先 役場企画観光課内 広報しゅうら編集室まで

情報をお寄せください

# おしらせ

役場の電話は62-2111



## 青森県最低賃金が 改正されました

青森県最低賃金が10月9日から1日4,094円、1時間512円となりました。

この最低賃金は、産業や職種にかかわらず県内すべての事業場ではたらく常用・臨時・パートなどすべての労働者と労働者を一人でも使用しているすべての使用者に適用されます。

ただし、次に掲げる賃金は最低賃金の算定には含まれません。  
①精皆勤手当②通勤手当③家族手当④臨時に支払われる賃金(賞与・期末手当など)⑤1か月を超える期間ごとに支払われる賃金⑥時間外労働・休日労働に対して支払われる賃金及び深夜労働に対する割増部分の賃金。

※照会、相談は青森労働基準局(電話0177-34-4111番)または五所川原労働基準監督署(電話35-2309番)へ。

## 市浦村赤十字奉仕団 研修会参加者募集

### 1. 日時

平成4年12月9日(水)  
午前8時30分から午後3時

### 2. 場所

十三公民館

### 3. 内容

- ①ハイゼックス(米をビニールに詰めて炊く方法)
- ②家庭看護法

### ③写真会等

#### 4. その他

昼食は、ハイゼックスのごはんと豚汁を試食します。服装は動きやすいようにトレンパンまたはズボン(スカートはご遠慮ください)で、かっぱう着をご持参ください。

#### 5. 申し込み

12月1日までに、役場住民福祉課へ申し込みください。

(奉仕団員は各地区の役員へ申し込むこと)

※この機会に奉仕団員の人たちと一緒に、赤十字を理解しましょう。詳しいことは、役場住民福祉課までお気軽にどうぞ。

## むつ湾内の定期航路を 楽しんでみませんか!

青森県と津軽・下北両半島などの21市町村の委員で構成する「むつ湾内航路活性化推進会議」では、むつ湾内の定期船舶航路の利用促進に取り組んでいます。

向いの下北半島には、仏ヶ浦や恐山、薬研温泉や尻屋崎など、優れた観光地がたくさんあり、各地の自慢の味覚を手軽に楽しむことができます。

船を利用した旅なら、陸上の交通機関だけの旅よりも早く楽に目的地に行けるうえ、乗っている間も広々とした海やいつもと違う陸の眺めが楽しめます。

むつ湾内には次の二つの航路が運航されていますが、どちらも素敵な旅を演出することでしょう。

## 市浦村の人口と世帯数 平成4.10.1現在

大字名	前月人口	人口	世帯数
根内	1,379	1,383	411
桂川	81	81	22
大田	301	302	94
脇元	611	607	205
磯松	343	335	116
十三	842	841	259
計	3,557	3,549	1,107

### ◎青森～脇野沢～佐井航路

旅客のみ・126人乗り・1日2往復・片道2時間20分

### ◎蟹田～脇野沢航路

バス、自家用車可・400人乗り・1日3往復・片道1時間10分

### ※問い合わせ先

下北汽船本社(電話0177-22-4545番) 蟹田営業所(電話0174-22-3020番)

## 年末調整説明会開催 一稅務署からのお知らせ

年末調整は、毎月の給料やボーナスから差し引かれた所得税と、1年間の給与総額に対する年税額との差額を精算するもので、サラリーマンにとっては確定申告に代わる大切な手続きです。

五所川原稅務署では、次のとおり年末調整説明会(青色個人を除く)を開催します。

▶とき 11月24日(火)  
AM10:00～12:00

▶ところ 五所川原市中央公民館  
※詳しいことは、五所川原稅務署(電話34-3136番)までお気軽にどうぞ。



## 県内の交通事故概況

		青森県交通対策協議会	
9月	累計	死者のうち	
発生 690 (636)	5,610 (5,631)	飲酒運転による死者	32
死者 13 (12)	110 (94)	シートベルト着用義務者	56
傷者 818 (771)	6,823 (6,911)	非着用者	45
		着けていれば助かったと思われる人	17

( )内は前年。累計は1月から

## "なんでも110番係"をご利用下さい

行政に対する要望、苦情、相談などお気軽にどうぞ

担当区域	担当者名	下の電話番号	自宅の電話番号
箱内・桂川	建設課長 安保隆悦	内線2 62-2184	
太田	企画観光課長 山内守栄	内線17 62-2260	
磯松	住民福祉課長 桑野邦夫	内線31 62-2374	
脇元	総務課長 竹谷博則	内線21 62-2252	
十三	産業振興課長 松江幸勝	内線25 62-2472	



# 赤ちゃんを「びびり」から守る

日増しに寒さも厳しくなつて冬の到来も間近に迫つてき

ました。一冬を過せば、必ずかぜの一つや二つは必ずかかってくるのですが、だからといって安心しては禁物です。いったんこじらせてしまうと

かぜとはいえず、なかなかやつかないものです。特に赤ちゃんの場合は、体力がないため

油断をすると、あつという間に症状が重くなつてしまいます。そこで今月は、赤ちゃんをかぜから守るケアについてお知らせします。

## ★かぜを寄せつけない体づくりのポイント

①日光浴・外気浴が体力づくりの基本です

寒くなつてきたからといって外気に当ててはいけないと、気温の変化に順応できなくなつてしまいます。赤ちゃんの健康な毎日の基本は、なんと言つても外気にふれることです。

②少々肌寒くても薄着で

赤ちゃんはとて汗っかきです。この汗を散乾させ、必要以上に汗をかかないようにするために日頃から薄着を心がけることが大切です。厚着をすると汗をかいて皮膚が弱くなるので、抵抗力もなくなり

③部屋の暖房はちよつと肌寒暑がりです。基本的にはお母さんが暑くも寒くもないと感じる温度が赤ちゃんにとつても適温と言えますが、はいはいや伝い歩きが始まつたら、大人がちよつと肌寒いと思つて、くらしい室温でもだいじょうぶです。

★かぜびび赤ちゃんのケアのポイント

①ふだんから、赤ちゃんの様子をよく観察して、いつもと同じか、そうでないかを判断できるようにしましょう。機嫌はいいか、元気があるか、顔色はいいか、食欲はあるか、うんちやおしっこは出

ているか、よく眠れているか、といったきめこまかな観察の積み重ねが大切です。

②一日一回は部屋の空気を入れ換え、掃除をていねいにしましょう。

また、布団をこまめに干す、赤ちゃんのいるところでタバコを吸わないなど、赤ちゃんをとり巻く環境を清潔に保つよう気をつけましょう。

③きめこまかな対応をしてくれるホームドクターを持きましょう。赤ちゃんをみていただくのは、その赤ちゃんの状態をふだんからよく知つていてくさず、

★こんな様子が見えたら要注意!!  
大事に至ることは少ないものの、「かぜは万病のもと」



と言われるように、こじらせるといろいろな合併症を起すことがあります。次のような様子が赤ちゃんに見られたら合併症の疑いがありますので、すぐにお医者さんに相談してください。

○鼻をビクビクさせる

○耳のあたりを押さえて泣いたり、頭を振つてくする場合

○一度下がった熱がまた出た場合  
○白目やあつかんべいをしたときに下まぶたが真っ赤な場合  
○高熱と吐きけがある場合

## 今月の顔



陸奥湾一周駅伝大会で力走する中井勝海くん(市浦中3年)



## 戸籍の窓

お誕生  
村元 孝史(磯松) 尚悦  
木村 優子(十三) 朋之  
奈良 康太(太田) 雄喜



## ご結婚

秋元 力(中里)  
和嶋 一枝(磯松)  
伊南 幸彦(磯松)  
倉林 あつ子(川崎)  
成田 純子(磯松)

瀬戸 弘巳(鳥取)	福井 慶太(十三)	大島 栄一(愛知)	成田 栄一(相内)	中川 恵利子(中里)	中村 晴(磯松)	宮崎 真直子(十三)	工藤 徹一(太田)	丸山 由美子(長野)	藤丸 健一(五所川原)	秋田 美香子(桂川)
-----------	-----------	-----------	-----------	------------	----------	------------	-----------	------------	-------------	------------

## おくやみ

梶浦 みつゑ(十三)	70歳	八木澤 智子(十三)	45歳	佐藤 正志(相内)	71歳	榑引 健(脇元)	19歳	宮本 七ツ(相内)	53歳	高谷 千セ(相内)	78歳	龜田 佐之助(十三)	77歳
------------	-----	------------	-----	-----------	-----	----------	-----	-----------	-----	-----------	-----	------------	-----